

研究業績リスト

氏名：産大 太郎 (SANDAI, Taro) ← 氏名を入れる

A 学術論文（査読付き論文、ジャーナル、学会誌、紀要、プロシーディングスなど）

1	単著	Ssandai, Taro. (2001). The acquisition of English relative clauses. Language Learning, Vol.23, No.4, pp. 455-470.
2 ↑	共著 ↑	産大 太郎・上賀茂 花子 (2002年) フィードバック効果と母音矯正のストラテジー：英語教育学の立場から。 日本英語教育学. 第 巻, 第 号 PP.53-60.
		すべての著者名、発行年、タイトル、掲載誌、巻、号、ページ数を記入
古いものから 順番に 番号を 付ける	単著、共著のいずれかを示す	

B 学術論文（一般誌掲載論文、エッセイ、依頼論文など）

1	単著	産大 太郎 (1999年) 新学習指導要領におけるオーラルコミュニケーション活動. 英語の教育. 第 巻, 第 号 PP.899-970.
		すべての著者名、発行年、タイトル、掲載誌、巻、号、ページ数を記入

C 書籍（専門書）

	なし

D 書籍（専門書の執筆分担）

	なし
	ページ数や章を示して執筆箇所を特定する

E 書籍（教科書、テキスト、またはその中の執筆分担など）

1	産大 太郎（1999年） TOEFL のライティング. 上賀茂 花子（編）『TOEFL 教材を使用した英語学習』第4章担当（pp. 59-88.） 社出版.
	ページ数や章を示して執筆箇所を特定する

F 翻訳

	なし

G 編集

	なし

H 口頭発表

1	英語代名詞の格変化とその学習. 2000年8月4日 英語教育学会関西支部年次発表会. コープイン京都.
	タイトル、発表年月日、学会(大会)名、場所を示す

I 招聘講演

1	英語帝国主義と日本の外国語教育. 2003年10月18日 全日本中学英語教育友の会 大学.
	タイトル、発表年月日、学会(大会)名、場所を示す